

国語科（科目名）学習指導案

指導者

- 1 履修単位数
- 2 実施日時
- 3 学級
- 4 使用教科書
- 5 単元（題材）名

令和 年 月 日（ ） 第 時限
HR （ 名）

どのような資質・能力を育成するために、どのような言語活動を行うのが生徒にわかるように工夫する。

6 単元設定の理由

(1) 生徒観

生徒は、・・・・・・・・

この単元で、どのような資質・能力を目指すのかを明確にする。

- ・本単元で育成したい資質・能力に関わって、客観的なデータやこれまでの評価の積み重ねから生徒の実態を分析する。
- ・生徒の実態から単元を構想するという考え方に立ち、生徒の実態を具体的に書く。

(2) 教材観

本教材は、・・・・・・・・

教材の内容分析、既習事項との関連などについて、身につけさせたい力に沿った観点から書く。

(3) 指導観

・・・によって、・・・
(・・・では、・・・)

身につけさせたい資質・能力を育成するための具体的な指導の工夫（手立て）について記述する。

7 単元の目標

(1)知識及び技能、(2)思考力、判断力、表現力等、(3)学びに向かう力、人間性等の三つの柱に基づいて示す。

〔*(1)・(2)は、学習指導要領の指導事項を書く 例：(1)ア〕

- (1)（指導事項を抜き出して文末を変える）・・・～することができる。〔知識及び技能〕 (2)エ
(2)（指導事項を抜き出して文末を変える）・・・～することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
B (1)ア
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに～関わろうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

〔*(3)は、学習指導要領の科目目標の「言葉がもつ～関わろうとする」までを示す。〕

8 本単元における言語活動

単元の目標を実現するために適した言語活動を、言語活動例を参考にして位置づける。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 B (2)ア）

9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①（指導事項を抜き出して文末を変える）・・・～ <u>している</u> 。 (2)エ	① 「(領域名)」において、～・・・（指導事項を抜き出して文末を変える）・・・～ <u>している</u> 。 (B (1)ア) ②・・・	* 1 粘り強さ 〈積極的に、進んで、粘り強く等〉 * 2 自らの学習の調整 〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉 * 3 他の2観点において重点とする内容 〈特に、粘り強さを発揮してほしい内容〉 * 4 当該単元の具体的な言語活動 〈自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動〉 文末は、「～ <u>しようとしている</u> 。」

10 指導と評価の計画（全 時間）

次	学 習 活 動	評価規準・評価方法
第1次 (時間)	生徒の活動を具体的に記す。	例〔知識・技能〕① 「記述の確認」
第2次 (時間)	(本時 1 / 2)	例〔思考・判断・表現〕① 「記述の分析」
第3次 (時間)		例〔主体的に学習に取り組む態度〕① 「記述の確認」

＊「単元の評価規準」と対応させた「評価規準」を、1次に1～2観点で書く。
 ＊「評価方法」は、「行動の観察・確認・分析」、「記述の点検・確認・分析」で設定する。

11 本時の目標

・本時の具体的目標を生徒の行動目標で書く。 ・「単元の目標」「単元の評価規準」との整合性を図る。	例：文末は「～することができる。」
---	-------------------

12 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 分	※活動やめあての確認 について記す。			
展開 分	※指導過程に沿って、 生徒の活動を生徒の立 場で記す。 ※文末表現は、 ～する。 ～を知る。 ～を表現する。 ～を理解する。等	※目標を達成させるた めの手立てを、指導者 の立場で記す。 ※具体的な手立て等を 記す。 ※文末表現は、 ～を示す。 ～をさせる。 ～を指示する。等	※「評価方法」と「単 元の評価規準」を踏 まえた「Bと判断す る状況」（具体的な 生徒の姿）を記述す る。 例：「思考・判断・ 表現」① ・適切な題材を決め、 集めた情報の妥当性 や信頼性を吟味して、 伝えたいことを明確 にしているかを分析 する。	「記述の分析」 ワークシート
1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し、枠で囲む。				
まとめ 分	・本時のまとめや振り 返りについて記す。			

13 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断 される状況	「おおむね満足できる」状況（B）を実現した生徒が、さらに質的な深 まりや高まりをもっている姿（A）を具体的に想定して記述する。
「おおむね満足できる」状 況を実現するための具体的 な指導・手立て	指導の手立てを具体的に想定して、記述する。

【参考資料】
 ・「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編」 文部科学省 平成30年7月
 ・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」 国立教育政策研究所 令和3年8月